令和3年度 四万十森林管理署の重点施策

～　地域の林業成長産業化に向けた取組　～

令和 3 年 4 月

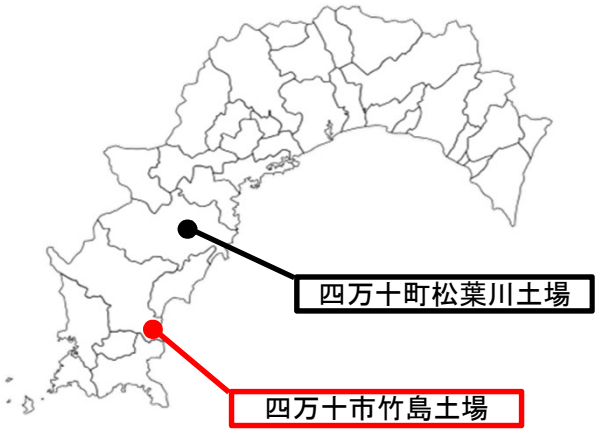
四万十森林管理署

①　木材の安定供給への取組

- 令和3年度の原木生産量**64,000㎥**を確保
- 新たに**四万十市竹島に中間土場を整備。既存の四万十町松葉川土場**と併せ中間土場を活用した**民有林と国有林の連携による国産材の安定供給を推進**

■　生産事業現場の様子
（四万十市　黒尊山国有林）

■ ストックヤード（土場）の
整備箇所



■　新たに整備した竹島土場
（四万十市竹島）

② 地域の安全・安心を守る災害・治山対策の強化

- 豪雨等により被災した荒廃山地の早期復旧及び緑の国土強靱化や既存施設の機能強化・長寿命化
- 平成30年7月豪雨等による継続的な治山事業の実施

■令和3年度事業予定
（四万十署管内）

	治山事業
予定箇所	奥足川山（宿毛市） 日見須山（四万十市） 大森山（三原村） 篠生津山（大月町） 2箇所 伊屋ヶ谷山（四万十町） 薄木山（四万十町） 元地山（四万十町）
計	8箇所 （4.4億円）

※下線は令和3年度新規地区

■大月町の災害現場復旧状況

(平成30年7月豪雨被災直後)
崩壊土砂流出により濁水発生

(令和2年度復旧完了後の状況)
崩壊地7箇所の復旧完了

③　地域の森林・林業を担う人材育成

- 林業技術に関する「現地検討会」や「ドローン講習会」を開催し、市町村、林業事業体等の技術力の向上を推進

■　令和3年度現地検討会の開催計画

予定月	検討会	場所
９月下旬	ナラ枯れ被害防止対策現地検討会	鷹取山国有林 椿原町民有林
11月上旬	列状間伐実施箇所の現地検討会	宿毛市民有林
１月下旬	多様な森林づくり見える化プロジェクト現地検討会	粟畑山国有林

※　上記は、現地事情や事業進捗状況等により追加や変更する場合があります。

■　現地検討会・ドローン講習会の様子

列状間伐現地検討会

ストックポイント整備の検討

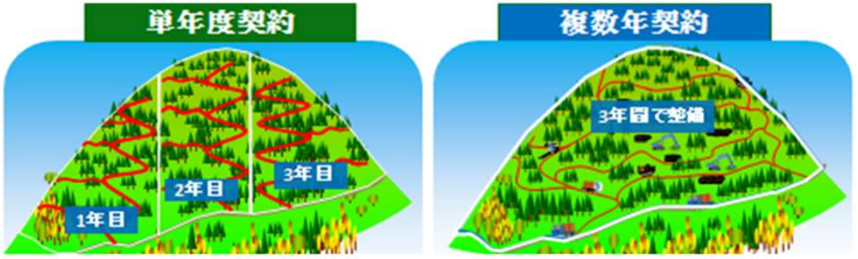
ドローン講習会

④　林業コスト削減対策

- **一貫作業システム**（伐採・搬出から植栽の作業を一括契約）を実施（立木販売と造林の混合契約）
- **複数年契約**（これらの作業を複数年（3年以内）で契約）を実施
- **下刈りの省力化**（隔年下刈り等）・弾力化（作業期間を6～12月に拡大し冬期間も下刈を実施）
- **列状間伐**の本格導入

■一貫作業システムと従来システム

■複数年契約による森林整備



■令和3年度一貫作業、複数年契約実施予定地区

一貫作業システム	複数年契約
・三原村　粟畑山（9.30ha、一貫作業）	・四万十町　津賀ノ川（83ha、R2～R3） ・四万十市　黒尊山（179ha、H31～R3）

■列状間伐の様子（黒潮町　日向山国有林）

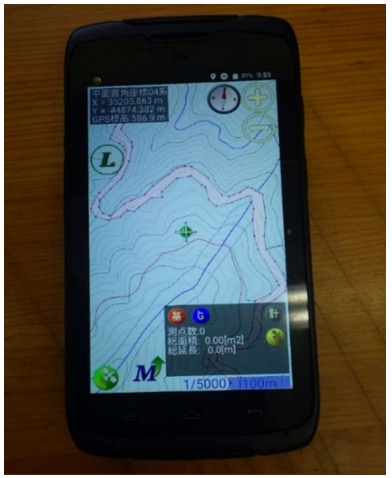
⑤ ドローン・ICTの新技術の積極導入

- ドローン7台を配備し、山地災害対策、森林資源調査、シカ被害対策等に積極活用
- GNSS（衛星測位システム）による収穫調査の周囲測量を導入

■ドローンによる災害調査の様子

■ドローン撮影の災害状況

■GNSS(衛生測位システム)



⑥ 夢の早生樹コウヨウザン三世代プロジェクト

- 土佐清水市のコウヨウザン試験地にて、県・森林総研と連携し、コウヨウザンの萌芽更新・育林による生産技術の確立を推進

コウヨウザンとは

■中国・台湾原産のヒノキ科の針葉樹
■生長が早く、材質強度はヒノキ程度の早生樹
■切り株から芽が出て萌芽更新で生長するため再造林が不要
（参考）造林経費：地拵え30万円/ha、植栽61万円/ha、下刈75万円/ha
■土佐清水市に昭和7年に植栽し第二世代が成林している国内唯一の試験地（辛川山0.3ha）
■第二世代の間伐木の強度は、他の地域のコウヨウザンと同程度、燃焼性はヒノキとほぼ同等

平成元年に萌芽更新した第二世代のコウヨウザン ←

左の株跡から再び萌芽が発生 →
（第三世代）

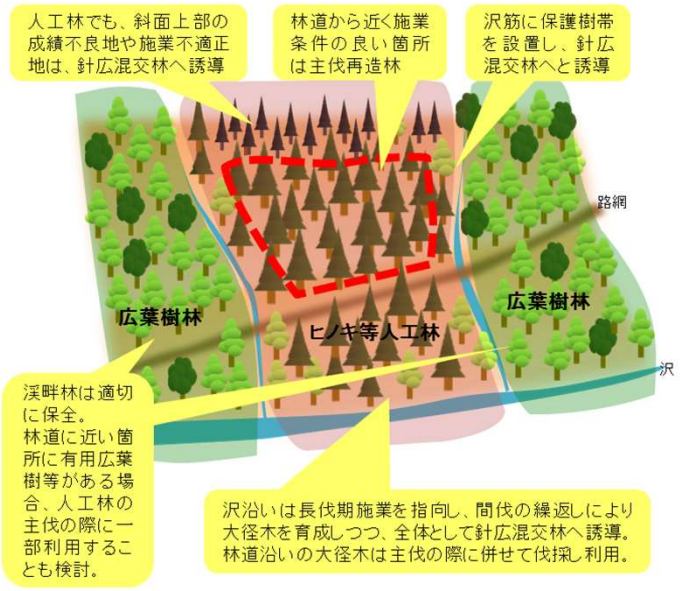
⑦　地域の課題への対応

- 「土佐備長炭ウバメガシ資源確保プロジェクト」の推進
- 「三原米の里多様な森林づくり活動」の推進
- 入野松原（黒潮町）の保全（松くい虫防除対策）

■「ウバメガシ資源確保プロジェクト」

■県西部（大月町国有林）
・ウバメガシ林の択伐・更新による原木生産技術の確立（和歌山県方式、更新・収穫まで15年程度）

■県東部（東洋町国有林）
・スギ・ヒノキの伐採跡地へのウバメガシ苗木植栽・育林（約2000本）による原木生産技術の確立（収穫まで30～40年程度）

土佐備長炭の原料のウバメガシの資源確保

■三原米の里多様な森林づくりのイメージ